

北海道大学シラバス					
■ ■ 科目名					
母性看護学実習					
■ ■ 講義題目					
■ ■ 責任教員 (所属)					
近藤 祥子 (大学院保健科学研究院)					
■ ■ 担当教員 (所属)					
中村 真弥 (大学院保健科学研究院) 吉田 倫子 (大学院保健科学研究院) 近藤 祥子 (大学院保健科学研究院)					
■ ■ 科目種別	保健学科			■ ■ 他学部履修等の可否	不可
■ ■ 開講年度	2022	■ ■ 期間	2 学期	■ ■ 時間割番号	022145
■ ■ 授業形態	実習	■ ■ 単位数	2	■ ■ 対象年次	3～3
■ ■ 対象学科・クラス	保健学科 [看護学専攻]			■ ■ 補足事項	H21～入学者用
■ ■ ナンパリングコード	HLT_N 3730				
■ ■ 大分類コード	■ ■ 大分類名称				
HLT_N	医学部保健学科 (看護学専攻)				
■ ■ レベルコード	■ ■ レベル				
3	学部専門科目 (発展的な内容の科目)、全学教育科目 (高年次対象科目)				
■ ■ 中分類コード	■ ■ 中分類名称				
7	専門分野II: 母性・小児看護学				
■ ■ 小分類コード	■ ■ 小分類名称				
3	実験・実習				
■ ■ 言語					
日本語で行う授業					
■ ■ 実務経験のある教員等による授業科目					
該当する					

## ■ ■ キーワード

周産期、妊娠、分娩、産褥、新生児、家族、母性看護

## ■ ■ 授業の目標

妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の生理的変化と特性を理解し、周産期にある母子およびその家族に必要とされる看護と健康教育を行うための基礎的能力を養う。

## ■ 到達目標

この授業の終了時には、学生は以下の能力を獲得していることを目標とする:

- 1.積極的傾聴、あるいは共感的理解を通し、対象者とのコミュニケーションを図ることができる。
- 2.妊娠期・分娩期・産褥期および新生児期の生理的特徴について説明できる。
- 3.妊娠期・分娩期・産褥期および新生児期の日常生活と心理・社会的側面について説明できる。
- 4.対象者（母子）の経過を踏まえたヘルスアセスメントができる。
- 5.基本的なスクリーニングアセスメントができる。
- 6.複数の情報の関連性を考慮して総合的に解釈できる。
- 7.母子を一体としてフォーカスアセスメントができる。
- 8.周産期における対象者の状態・ニーズ・個別性に基づいて看護診断ができる。
- 9.期待される結果を具体的に明示できる。
- 10.ケア計画を具体的に明示できる。
- 11.母子のケアに必要とされる基本的技術を安全に実施できる。
- 12.対象者のもっている能力を生かした支持的な援助を考え、実施できる。
- 13.対象者の考えやペースを尊重した関わりができる。
- 14.実践した内容の有効性について、対象者の反応や変化から評価することができる。
- 15.周産期にある対象者の健康管理に必要とされる看護と看護者の役割について説明できる。

## ■ 授業計画

詳細については、実習オリエンテーションで説明する。

## ■ 準備学習(予習・復習)等の内容と分量

- 1.実習前にオリエンテーションを受けること。
- 2.事前に提示する学習課題に取り組むことにより、既習の知識を整理すること。
- 3.受け持ちした母子に対する看護過程を記録し、実習での看護実践について学びを深めること。
- 4.課題についてレポートを作成すること。

## ■ 成績評価の基準と方法

2/3以上の出席をもって評価対象者とします。

評価は、実習記録（病棟および学内）、看護技術到達度、実習態度に基づいて行う。

## ■ 有する実務経験と授業への活用

周産期医療施設で助産師として勤務した経験を有する教員が、実務経験に基づき、母性看護学実習の指導を行う。

## ■ 他学部履修の条件

## ■ テキスト・教科書

[母性看護学II 周産期各論: 医歯薬出版株式会社, ISBN:9784263237373](#)

[系統看護学講座 母性看護学概論: 医学書院, ISBN:9784260042253](#)

## ■ 講義指定図書

## ■ 参照ホームページ

■ ■ 研究室のホームページ

■ ■ 備考

■ ■ 更新日時

2022/02/18 14:45:23

■ ■